

令和2年神奈川県
国家戦略特別区域限定保育士試験問題


社会的養護

(選択式 10 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) …  (濃くマークすること。はみだしは厳禁。)

(悪い例) … 

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次の文は、社会的養護の歴史の変遷に関する記述である。A～Dを年代順に並べた場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「児童虐待の防止等に関する法律」において、「身体的虐待」「性的虐待」「ネグレクト」「心理的虐待」が児童虐待として定義された。
- B 要保護児童だけではなく、すべての子どもの福祉を目的として、「児童福祉法」が制定された。
- C 子どもを権利の主体とする「児童の権利に関する条約」が国連総会で採択された。
- D 里親及びファミリーホームにおける養育の理念や方法、手順などを社会に開示し、質の確保と向上に資するため、「里親及びファミリーホーム養育指針」が示された。

(組み合わせ)

- 1 A→B→C→D
- 2 A→C→B→D
- 3 B→A→C→D
- 4 B→C→A→D
- 5 B→D→C→A

問2 次の文は、児童の権利擁護に関する記述である。不適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 「児童福祉法」は、児童の保護者が児童を心身ともに健やかに育成する第一義的責任を負うと定めている。
- 2 ユニセフは、「児童の権利に関する条約」を大きく「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」の3つに分類している。
- 3 「児童の代替的養護に関する指針」は、「幼い児童、特に3歳未満の児童の代替的養護は家庭を基本とした環境で提供されるべきである」と述べている。
- 4 「新しい社会的養育ビジョン」は、「児童相談所に係った子どもが自分の過去を知りたいときに知ることができるのは子どもの権利である」と述べている。
- 5 社会的養護関係施設は、子どもの最善の利益の実現のために施設運営の質の向上を図るため、3年に1回第三者評価を受けることが義務付けられている。

問3 次の文は、社会的養護の法律に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「児童福祉法」は、家庭における養育が適当でない場合、児童が家庭における養育環境と同様の養育環境において継続的に養育されるよう、必要な措置を講じることを国及び地方公共団体の責務としている。
- B 親権は「児童福祉法」に規定されている。
- C 児童福祉施設の長は、入所児童の生命又は身体の安全を確保するため緊急の必要がある場合には、親権を行う者又は未成年後見人の意に反しても、監護、教育等必要な措置をとることができる。
- D 「児童虐待の防止等に関する法律」では、児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者は、福祉事務所や児童相談所に通告することが望ましいとされている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	×
4	×	×	○	○
5	×	×	○	×

問4 次のうち、障害児支援に関する記述として正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「児童福祉法」は、障害児通所支援として児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス、居宅訪問型児童発達支援及び保育所等訪問支援の5つを規定している。
- B 障害児入所施設は、発達支援機能、自立支援機能、社会的養護機能、地域支援機能の活用を図るべきとされている。
- C 医療型障害児入所施設の利用は、原則として都道府県等による措置によって開始される。
- D 福祉型障害児入所施設には、保育士の配置が望ましいとされている。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問5 次の文は、「社会的養育の推進に向けて（平成31年4月）」（厚生労働省）における社会的養護の現状等に関する記述である。適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 過去10年（2008（平成20）～2017（平成29）年）において、児童養護施設の入所児童数は増加傾向にある。
- 2 過去10年（2008（平成20）～2017（平成29）年）で、里親・ファミリーホームへの委託児童数に大きな増減はみられない。
- 3 児童養護施設に入所している子どものうち、障害等のある児童の割合は約1割である。
- 4 児童養護施設に入所している子どものうち、平成29年度末に高等学校等を卒業した児童の進路は、大学等進学が最も多かった。
- 5 平成29年度に母子生活支援施設に入所した世帯の入所理由として最も多いのは、夫等の暴力である。

問6 次の文を「児童の権利に関する条約」第12条の記述として完成させる場合、
(A) ~ (C) の語句が正しいものを○、誤ったものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- 1 締約国は、自己の意見を形成する能力のある児童がその児童に影響を及ぼす (A すべ
て) の事項について自由に自己の意見を表明する権利を確保する。この場合において、児童
の意見は、その児童の年齢及び (B 成熟度) に従って相応に考慮されるものとする。
- 2 このため、児童は、特に、自己に影響を及ぼすあらゆる司法上及び行政上の手続にお
いて、国内法の手続規則に合致する方法により直接に又は代理人若しくは適当な団体を
通じて (C 聴取) される機会を与えられる。

(組み合わせ)

- | | A | B | C |
|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ |
| 2 | ○ | ○ | × |
| 3 | ○ | × | ○ |
| 4 | × | ○ | ○ |
| 5 | × | ○ | × |

問7 次の文は、「小規模住居型児童養育事業実施要綱」（平成29年 厚生労働省）の一部である。（A）～（D）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

小規模住居型児童養育事業は、（A）に児童を迎え入れ、（B）における養育環境と同様の養育環境において養育を行う（C）の一環として、保護者のない児童又は保護者に監護させることが不相当であると認められる児童（以下「要保護児童」という。）に対し、この事業を行う住居（以下「（D）」という。）において、児童間の相互作用を活かしつつ、児童の自主性を尊重し、基本的な生活習慣を確立するとともに、豊かな人間性及び社会性を養い、児童の自立を支援することを目的とする。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	小規模の施設	児童養護施設	施設養護	グループホーム
2	小規模の施設	家庭	家庭養護	ファミリーホーム
3	養育者の家庭	家庭	施設養護	ファミリーホーム
4	養育者の家庭	家庭	家庭養護	ファミリーホーム
5	小規模の施設	児童養護施設	社会的養護	グループホーム

問8 次の文は、「児童養護施設運営指針」（平成24年3月 厚生労働省）において示されている「自立支援計画、記録」に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 把握した情報を総合的に分析・検討し、課題を抽象的に明示する。
- B アセスメントは、子どもの担当職員をはじめ、心理療法担当職員、家庭支援専門相談員などが参加するケース会議で合議して行う。
- C 支援目標は、子どもに理解できる目標として表現し、必達目標として子どもに説明する。
- D アセスメントと計画の評価・見直しは、少なくとも半年ごとに定期的に行い、かつ緊急の見直しなど必要に応じて行う。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	×	○	×	○
4	×	○	×	×
5	×	×	×	○

問9 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

継父から強い身体的虐待・心理的虐待を受けてきたN君（小3、男児）が児童養護施設に入所した。入所して1か月ほどたったある日、リビングルームで一人で絵本を読んでいたN君が、職員とMさん（小1、女兒）が庭でシャボン玉遊びをしているのを見つけ、絵本をリビングルームのテーブルに出したまま、僕もやりたいと外に出てこようとした。それを見て職員がN君に対して「N君、絵本を元の場所に片付けようね。」と伝えると、N君は職員に対して「お前なんか大嫌いだ！死ぬ！消えろ！」と罵り、絵本を職員に投げつけ、自室に閉じこもって泣いている。

【設問】

N君への職員の対応として適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A N君の自室に行き、「私はN君のこと、嫌いじゃないよ」と伝える。
- B 「小3にもなって、本を投げつけるN君だから、私も嫌い」と伝える。
- C N君が謝罪するまで、絶対N君に声かけはしない。
- D 他の職員と連携しながら、N君の心身を傷つけないように対応する。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	×	×	○
2	○	×	×	×
3	×	○	×	×
4	×	×	○	○
5	×	×	○	×

問 10 次の文は、「児童養護施設運営指針」（平成 24 年 3 月 厚生労働省）において示されている「家庭支援」の一部である。（ A ）～（ D ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

被措置児童の家庭は、地域や親族からも（ A ）していることが多く、行政サービスとしての子育て支援が届きにくい。こうした家庭に対して施設は、その養育機能を代替することはもちろんのこと、養育機能を補完するとともに子育ての（ B ）としての役割を果たしていくことが求められている。その意味では、児童養護施設は、（ C ）の最善の利益を念頭に、その家庭も（ D ）の対象としなければならない。その場合、地域の社会資源の利用や関係者との協働が不可欠である。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	孤立	指導者	子ども	支援
2	孤立	指導者	保護者	指導
3	自立	パートナー	保護者	指導
4	孤立	パートナー	子ども	支援
5	自立	パートナー	子ども	指導